

安倍政権の特徴示す法案

「共謀罪」法案は、安倍政権の特徴をとてもよく示しています。法の基本原則をちゃんと守らず、無理やり動かそうとしていることです。安保関連法制もそうでした。

「共謀罪」法案について政府は、「国際組織犯罪防止条約を締結するために必要だ」「テロ対策のため」と言います。しかし、国際的組織犯罪で認知されているのは、お金もつげのため継続的に犯罪をしている集団。外国でいうとマフィア、日本でいう暴力団です。こういう集団が行うのは、商売としての犯罪であり、テロではありません。日



早稲田大教授 長谷部 恭男さん

本政府は、テロ対策の条約をすでにいくつも締結しています。「共謀罪」法案を成立させないといけないというのは、その意味でも間違っている。犯罪の処罰は、国家権力が最も先鋭、最も極端な形であらわれるもの

ストップ

共謀罪

(7日のペンクラブ主催の集会から)

庇護のマスクかぶり監視



作家 森 絵都さん

私の住んでいる地域では警官が数年に一度現状確認のため訪ねてきます。「この辺りは至るところに監視カメラがある」ので安心して下さい」と満面の笑顔で言われた時には不気味さにぞっと

ットを助ける「ペットレスキュー」に同行取材するため、立ち入り禁止区域内にも入りました。国は国民を放射能から守るためだといって立ち入り禁止にしましたが、そうすることで都合の悪いことを隠すこともできます。

私が震災で感じたのは「いざという時、国は国民を守らない」ということ。監視とセットで差し出されるいつわりの庇護ではなく、自分たちを自分たちで守り合う意識をもつことが、共謀罪に抵抗していくうえで大切なことだと思います。